



吉原 晴照 議員

**質問**  
アグリサイエンスバレー事業の45ヘクタールの進捗について

**答弁**  
事業全体として、計画どおり順調に進んでいる

吉原議員の質問動画



議員

企業立地ゾーンの造成工事について進捗を伺う。

**アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー**  
北側約4.1ヘクタールは造成工事が完了している。残る2街区約9ヘクタールは今年9月完成予定であり、最後の約7ヘクタールは来年3月完成予定である。

議員

企業誘致の進捗状況を伺う。

**アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー**  
北側約4.1ヘクタールに日本GLPが土地を取得し2月から建設を開始している。工事完了後は、食品総合物流企業の㈱ムロオが業務を行う予定である。残りの誘致状況については、多数の引き合いがある。

議員

大規模施設園芸ゾーンと観光農園ゾーンの土地改良工事は計画どおりか伺う。

副市長

土地改良工事は、昨年10月に着手して、大規模施設園芸ゾーン・観光農園ゾーンとも順調に整地を行い、3月中に全ての工事が完了

する予定である。

議員

観光農園ゾーンは地元農業法人で決まったので、土地改良は計画どおり完了していただきたい。その農業法人との契約等を含めた現状を伺う。

**アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー**

進出を予定している(有)大地は、地権者協議会で認定を受け、4月から農地中間管理機構を介して、農地を借り受ける予定となっている。

議員

アグリサイエンスバレー事業の総括として、雇用対策と道の駅の補助金確保について伺う。

市長

道の駅の補助金は、設計業務が確定しないと補助金の申請ができないが、国・県のアドバイスを設計に盛り込んで進めている。雇用については、次世代を育成する大学や茨城県労働局、常総市だけではなく広範囲のハローワークと連携を継続して行っている。今後も官民連携を図り、しっかりと取り組んでいきたい。



飯島 忠 議員

**質問**  
改訂バリアフリー法の対応について

**答弁**  
環境整備を行う準備を進めていく

飯島議員の質問動画



議員

今年4月から施行される改正バリアフリー法により、建築物移動等円滑化(バリアフリー化)基準適合義務の対象となる特別特定建築物に公立小中学校が追加されることになる。当市の学校施設におけるバリアフリー化の現状について伺う。

教育部長

市内小中学校19校の校舎については、昇降口・玄関から教室等までのスロープ設置は7校、門から建物の前までのスロープ設置は19校全て、多目的トイレの設置は11校、エレベーターの設置は4校となっている。屋内運動場については、昇降口・玄関からアリーナまでのスロープ設置は7校、門から建物の前までのスロープ設置は19校全て、多目的トイレの設置は5校である。

議員

当市の設置状況は、全国的な平均よりも遅れていると思われる。2025年度までに達成すべき国の目標は、エレベーターの設置40%、車いす用トイレの設置95%

スロープの設置100%となっている。今後の対応策について伺う。

教育部長

現状では、全校を対象にバリアフリー化を進める計画はないが、入学や転校してくる児童生徒に対して施設の配慮が必要な場合は、その都度、整備を行っている。全校的な整備については、障がい者等の移動等円滑化促進に関する法律施行令の一部を改正する政令施行に伴い、改定された文部科学省の学校施設バリアフリー化推進指針に十分留意しながら、小中学校の適正配置や大規模改修工事等の方向性を踏まえ、検討していきたい。

議員

学校設備バリアフリー化推進の指針が法令化されたことを踏まえ、早急な対応をお願いする。

【その他の質問】

★石下東部地区の幼稚園整備について

